



## 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月9日

上場会社名 丸大食品株式会社  
 コード番号 2288 URL <http://www.marudai.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 井上 俊春  
 (氏名) 加藤 伸佳  
 TEL 072-661-2518

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	181,893	4.8	572	83.6	879	77.1	1,087	49.6
2020年3月期第3四半期	190,994	1.4	3,500	32.1	3,840	31.8	2,157	18.4

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 2,639百万円 (33.1%) 2020年3月期第3四半期 1,982百万円 (167.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	42.81	
2020年3月期第3四半期	84.83	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	145,507	76,761	52.3	2,997.98
2020年3月期	131,854	75,056	56.5	2,930.66

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 76,156百万円 2020年3月期 74,510百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期				35.00	35.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	233,000	5.2	700		200		200		7.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	26,505,581 株	2020年3月期	26,505,581 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,102,883 株	2020年3月期	1,081,261 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	25,414,727 株	2020年3月期3Q	25,430,056 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、持ち直しの動きが見られるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況が続いております。足もとでは新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴い緊急事態宣言が再び発出されるなど、景気の先行きは予断を許さない状況となっております。

当業界におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、内食需要が高まる一方で、外食需要の低迷により業務用食材の需要が落ち込みました。生活様式や市場環境に大きな変化が生じているなかで、消費者の節約志向や価格競争が一層激しくなるなど、非常に厳しい環境となっております。食肉相場におきましては、国産牛肉は足もとでは前年を上回っているものの、外食需要の回復は鈍く総じて前年を下回り、国産豚肉は家庭内消費の需要拡大などから前年を上回って推移しております。また、海外調達先からの供給の不安定さや外食需要低迷のなか、米国産牛肉の相場は前半の高値から一転、前年を下回って推移し、輸入豚肉は不安定な推移を繰り返すなど、食肉相場の先行きは不透明感が増しております。

このような厳しい状況のなか、当社グループは、お客様に、より安全でより安心して召し上がっていただける食品を提供する総合食品メーカーとして、真に社会的存在価値が認められる企業を目指し、企業活動を推進してまいりました。

当第3四半期連結累計期間における売上高は前年同期比4.8%減の1,818億93百万円、営業利益は同83.6%減の5億72百万円、経常利益は同77.1%減の8億79百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同49.6%減の10億87百万円となりました。

セグメント別の業績の概況は、次のとおりであります。

## 【セグメント別業績】

(単位：百万円)

	売上高 (注)			セグメント利益又は損失 (△)		
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
加工食品事業	133,184	125,390	△7,793 (△5.9%)	2,486	△200	△2,686 (-)
食肉事業	57,698	56,385	△1,313 (△2.3%)	966	721	△244 (△25.3%)
その他	112	118	6 (5.6%)	48	52	3 (7.2%)
合計	190,994	181,893	△9,100 (△4.8%)	3,500	572	△2,928 (△83.6%)

(注) 売上高には、セグメント間の内部売上高は含まれておりません。

## 【加工食品事業 売上高内訳】

(単位：百万円)

	売上高		
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
ハム・ソーセージ	61,986	59,973	△2,012 (△3.2%)
調理加工食品	71,198	65,416	△5,781 (△8.1%)

## ① 加工食品事業

ハム・ソーセージ部門では、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛要請などを背景とした内食需要の高まりから、家庭用商品を中心に「燻製屋熟成あらびきポークウインナー」をはじめとする「燻製屋」シリーズや「いつも新鮮ロースハム」、「いつも新鮮ハーフベーコン」など主力商品の販売を伸ばしました。一方で、一部の業務用食材は、外食需要低迷の影響が顕著となり売上高が減少したほか、歳暮ギフトは市場全体の落ち込みに加え外出自粛要請の影響もあり伸び悩みました。以上のことから、当部門の売上高は前年同期比3.2%の減収となりました。

調理加工食品部門では、内食需要の拡大や備蓄用商品需要の高まりなどから、「ビストロ倶楽部ビーフカレー」シリーズなどのレトルト商品が好調に推移しました。また、「スンドゥブ」シリーズは、SNSを活用した販促などの取り組みを実施し、メニュー提案や新規購買層獲得に向け拡販を図りました。一方で、外出自粛要請の継続や在宅勤務などの影響から、都市部を中心としたコンビニエンスストア向け商品が低調に推移したほか、競合他社参入も重なったブラックタピオカ入り飲料の売上高が大きく減少したことなどから、当部門の売上高は前年同期比8.1%の減収となりました。

以上の結果、加工食品事業の売上高は前年同期比5.9%減の1,253億90百万円となりました。セグメント利益は、売上高の減少や企業間競争による低価格化、原材料価格の上昇などから、前年同期を大きく下回り2億円の損失（前年同期は24億86百万円の利益）となりました。

## ② 食肉事業

新型コロナウイルス感染症が拡大するなかで、牛肉につきましては、国産牛肉は足もとの相場上昇から販売単価が引き上げられ量販店向けに売上高が順調に推移しましたが、外食向けを中心に輸入牛肉などが伸び悩んだことなどから、牛肉全体の売上高は前年を下回りました。豚肉につきましては、アウトパック商品の売上高が伸長したものの、海外調達先からの供給量減少や外食需要の回復の遅れなどから、豚肉全体の売上高は前年を下回りました。鶏肉につきましては、輸入品の国内在庫量が増加し販売単価を低下させたことにより売上高は減少しました。

以上の結果、食肉事業の売上高は前年同期比2.3%減の563億85百万円となりました。セグメント利益は、外食需要の低迷などにより、前年同期比25.3%減の7億21百万円となりました。

## ③ その他事業

その他事業の売上高は前年同期比5.6%増の1億18百万円、セグメント利益は前年同期比7.2%増の52百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 〔連結財政状態〕

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当第3四半期 連結会計期間末	増減額
総資産	131,854	145,507	13,653
負債	56,798	68,746	11,948
純資産	75,056	76,761	1,705
自己資本比率	56.5%	52.3%	△4.2%

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、年末商戦による季節要因から受取手形及び売掛金が90億84百万円増加したほか、原材料及び貯蔵品が19億83百万円、投資有価証券が19億47百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ136億53百万円増加し、1,455億7百万円となりました。

負債は、有利子負債が74億4百万円、支払手形及び買掛金が23億67百万円、未払金が14億18百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ119億48百万円増加し、687億46百万円となりました。

純資産は、剰余金8億89百万円の配当がありましたが、その他有価証券評価差額金13億43百万円の増加や親会社株主に帰属する四半期純利益10億87百万円の計上などから、前連結会計年度末に比べ17億5百万円増加し、767億61百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末から4.2%低下し、52.3%となりました。

## 〔連結キャッシュ・フローの状況〕

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,950	602	△2,348
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,565	△4,405	1,159
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,776	4,448	672
現金及び現金同等物の増減額	1,161	645	△516
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,288	8,889	△399

営業活動によるキャッシュ・フローは、運転資金の増加による減少要因がありましたが、減価償却費の計上や税金等調整前四半期純利益の計上などから、6億2百万円増加しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、生産設備の増強・合理化や品質向上のための固定資産の取得による支出などから、44億5百万円減少しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いがありましたが、有利子負債の増加などから、44億48百万円増加しました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の四半期末残高は、前連結会計年度末から6億45百万円増加し、88億89百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年4月の全都道府県を対象とした緊急事態宣言に引続き、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴い2021年1月に大都市部を中心として緊急事態宣言が再び発出されたことにより、主に外食産業や都市部のコンビニエンスストア向けの売上高が落ち込んでおり、デザート・飲料類の売上高の回復も遅れ気味で、収益の伸び悩みが見られることなどから、2020年11月10日に公表いたしました2021年3月期通期の連結業績予想を修正しております。詳細については、本日(2021年2月9日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,244	8,889
受取手形及び売掛金	27,501	36,586
商品及び製品	11,057	10,392
仕掛品	647	324
原材料及び貯蔵品	5,887	7,870
その他	2,274	1,964
貸倒引当金	△15	△22
流動資産合計	55,597	66,005
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	54,258	61,679
減価償却累計額	△37,644	△43,470
建物及び構築物 (純額)	16,613	18,208
機械装置及び運搬具	62,664	70,501
減価償却累計額	△48,118	△54,421
機械装置及び運搬具 (純額)	14,545	16,080
工具、器具及び備品	4,718	5,296
減価償却累計額	△3,154	△3,688
工具、器具及び備品 (純額)	1,563	1,608
土地	18,392	18,839
リース資産	7,879	8,895
減価償却累計額	△2,467	△3,685
リース資産 (純額)	5,411	5,210
建設仮勘定	2,545	542
有形固定資産合計	59,072	60,490
無形固定資産		
投資その他の資産	3,050	2,880
投資有価証券	10,282	12,230
関係会社株式	121	151
長期貸付金	22	20
退職給付に係る資産	71	437
繰延税金資産	277	330
その他	3,474	3,074
貸倒引当金	△117	△114
投資その他の資産合計	14,133	16,131
固定資産合計	76,256	79,502
資産合計	131,854	145,507

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,165	25,532
短期借入金	8,080	14,616
1年内返済予定の長期借入金	1,887	2,348
リース債務	855	892
未払金	8,942	10,361
未払法人税等	523	191
未払消費税等	448	203
賞与引当金	850	317
その他	1,391	2,260
流動負債合計	46,145	56,724
固定負債		
長期借入金	3,933	4,491
リース債務	4,658	4,470
繰延税金負債	550	1,087
退職給付に係る負債	854	1,306
その他	656	665
固定負債合計	10,652	12,022
負債合計	56,798	68,746
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,716	6,716
資本剰余金	22,086	22,086
利益剰余金	45,676	45,874
自己株式	△2,657	△2,697
株主資本合計	71,821	71,979
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,832	5,175
繰延ヘッジ損益	△2	△5
為替換算調整勘定	40	30
退職給付に係る調整累計額	△1,181	△1,023
その他の包括利益累計額合計	2,688	4,177
非支配株主持分	545	604
純資産合計	75,056	76,761
負債純資産合計	131,854	145,507



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	190,994	181,893
売上原価	146,727	142,774
売上総利益	44,267	39,119
販売費及び一般管理費	40,766	38,546
営業利益	3,500	572
営業外収益		
受取利息	13	12
受取配当金	172	160
不動産賃貸料	125	128
その他	332	287
営業外収益合計	643	588
営業外費用		
支払利息	163	177
その他	140	104
営業外費用合計	303	281
経常利益	3,840	879
特別利益		
固定資産処分益	132	265
負ののれん発生益	—	997
投資有価証券売却益	6	0
特別利益合計	139	1,264
特別損失		
固定資産処分損	247	167
減損損失	66	299
製品自主回収関連費用	40	—
特別損失合計	353	467
税金等調整前四半期純利益	3,625	1,677
法人税、住民税及び事業税	973	382
法人税等調整額	460	144
法人税等合計	1,434	526
四半期純利益	2,191	1,150
非支配株主に帰属する四半期純利益	34	62
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,157	1,087

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	2,191	1,150
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△284	1,343
繰延ヘッジ損益	△3	△2
退職給付に係る調整額	76	157
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△9
その他の包括利益合計	△209	1,488
四半期包括利益	1,982	2,639
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,947	2,576
非支配株主に係る四半期包括利益	34	62

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,625	1,677
減価償却費	4,939	5,750
減損損失	66	299
貸倒引当金の増減額(△は減少)	11	3
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△283	△157
負ののれん発生益	—	△997
受取利息及び受取配当金	△185	△172
支払利息	163	177
投資有価証券売却損益(△は益)	△6	△0
固定資産処分損益(△は益)	114	△98
売上債権の増減額(△は増加)	△8,047	△8,229
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,086	△532
仕入債務の増減額(△は減少)	4,720	1,773
未払消費税等の増減額(△は減少)	△81	△259
未払金の増減額(△は減少)	3,360	1,813
その他	△1,697	84
小計	3,614	1,130
利息及び配当金の受取額	335	326
利息の支払額	△155	△166
法人税等の支払額	△662	△597
特別退職金の支払額	△181	△90
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,950	602
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△27	△28
投資有価証券の売却による収入	21	1
固定資産の取得による支出	△5,634	△4,257
固定資産の売却による収入	338	739
連結の範囲の変更を伴う 子会社株式の取得による支出	—	△1,195
その他	△264	334
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,565	△4,405
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	6,570	6,536
長期借入れによる収入	—	2,440
長期借入金の返済による支出	△1,161	△2,921
リース債務の返済による支出	△715	△671
配当金の支払額	△890	△889
自己株式の取得による支出	△21	△40
その他	△3	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,776	4,448
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,161	645
現金及び現金同等物の期首残高	8,127	8,244
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,288	8,889

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	133,184	57,698	190,882	112	190,994	—	190,994
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	606	606	△606	—
計	133,184	57,698	190,882	718	191,600	△606	190,994
セグメント利益	2,486	966	3,452	48	3,500	—	3,500

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行事業等を含んでおりません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各セグメントに帰属しない賃貸等不動産について、回収可能価額の低下に伴う減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては66百万円であります。

当第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	125,390	56,385	181,775	118	181,893	—	181,893
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	586	586	△586	—
計	125,390	56,385	181,775	704	182,479	△586	181,893
セグメント利益又は損失 (△)	△200	721	520	52	572	—	572

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行事業等を含んでおりません。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各セグメントに帰属しない賃貸等不動産について、回収可能価額の低下に伴う減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては299百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

「加工食品事業」セグメントにおいて、第2四半期連結会計期間にトーラク株式会社の株式を取得したことにより、当第3四半期連結累計期間において、負ののれん発生益997百万円を計上しております。